

相談支援の窓から ～その4～

相談支援専門員 長 友 真佐子

ある日「見て見て！これ買ったよ！」と、大きく元気な声が聞こえ、駆け寄って来られた方がいました。就労継続支援B型で働いた給料で、購入されたようですが、自慢げに、誇らしげに、私に見せるその笑顔に、私も喜びを感じたひと時でしたし、ご本人は、給料を得たことで、喜びややりがいを感じる事が出来た事でしょう。

今回、あらためて「働く」という事について考えてみました。（辞書などの解釈とは違う視点で見えていくこととします。）何かのドラマの一説ではないですが、「働く」という字は「人が（は）動く」と書きます。その「人」は「誰」を指すか、「動く」のは何かを自由に考えると、いくつも思いつくでしょう。そう考えていくと、「働く」とは、「（自分が）仕事をして、給料を得る」ことだけを「働く」としなくても良いことに気がきます。つまり、「私は、あなたの歌で心が動く（動いた）」でも、「あなたが、私を笑顔にしてくれた」ことも、「あなたが、頑張っている姿に、勇気をもらう」事も、全て「誰かが何かを動かす（動く）こと」であるため、「働く」と解釈してよいのではないのでしょうか？

ある日、友人のフェイスブックを見ると、脳性まひで自分の体を思うように動かすことのできない彼が、体を支えてもらいながら、何度も何度も練習を重ね、時間をかけて一文字を書きあげていくシーンに、感動と大きな勇気をもらいました。「私の心が動いた」瞬間でした。「障がいが重いから、働くことは難しい」とお考えの方もいらっしゃると思いますが、重い障がいがある方であろうと、私はじめ、誰かが、その笑顔に癒されたり、頑張る姿に勇気をもらったり、あなたのために「何か役に立ちたい」と活力をもらったりしています。心が動く時、そこには誰かの「働き」があります。働いて、給料を得る「働く」事は難しくても、誰かに何らかの良い影響をもたらす「働き」は、誰にでも可能です。

相談支援をしていると、利用者にとって「働く」ってどういうこと？と考える事は多々あります。あなたの「働」、そしてあの人の「働」はどれですか？

土曜学校メッセージ

金垣基牧師（宮崎めぐみ教会）、印慶子牧師（宮崎柳丸キリスト教会）、
海老原直宏（宮崎北聖書キリスト教会）、荒平大輔牧師（宮崎北聖書キリスト教会）、
浅野謙牧師（宮崎霧島キリスト教会）、山口英希牧師（宮崎清水町教会）

寄贈品・寄附金ありがとうございます。（10月～12月）

甲斐節子様、宮王丸郵便局様、都城音訳・点訳友の会様、川越雪弘様、吉間光子様、檀上浩様
塚野恵理子様、並タツ様、坂元美知子様、坂下住男様、甲斐正春様、渡邊稔商店様、
宮崎清水町教会様、綾町社会福祉協議会様、障害者支援施設ハッピーヒル様、加藤郁雄様、
宮越辰夫様、郷原富貴子様

ボランティア（10月～12月）

くにとみ菜の花会様、家族会有志様

編集 後記

利用者さんから「できなかったことができるようになった」「給料日はいつ？」「給料で〇〇を買ったよ」「褒めてもらえたよ」等の話を聞くとき、働くことが利用者さんにとって、いかに幸せなことなのかと感じる場面が良く見られます。これからも利用者さんへ様々な仕事に取り組んでいただくためには、地域の方々や、ご家族、関係機関の方のご協力が必要です。何卒、よろしく申し上げます。 徳原 潤

■発行日 平成31年1月19日 ■発行 社会福祉法人エデンの園 ■発行者 エデンの園施設長 廣瀬 恵
〒880-1114 宮崎県東諸県郡国富町三名2621-5 TEL.0985-75-4936 FAX.0985-75-1160
<http://miyazakieden/ec-net.jp/> E-mail miyazaki-eden@sirius.ocn.ne.jp